

姉妹都市寒川町親善訪問報告書

議員 佐藤 政人

期 間	令和6年7月14日（日）～ 15日（月）
訪問先	神奈川県 寒川町
感想・所見など 寒河江というところは、奈良時代に寒川町の方が移り住んだというところから始まったと言われております。そのような歴史を踏まえて、50年前に寒河江市・寒川町の青年会議所の交流からスタートしたとお聞きしました。また、友好姉妹都市の締結は、寒川町町政施行50周年を記念して平成2年11月1日に締結されたそうです。 寒川町については初めて訪れる町ということもあり事前に調べて行きました。町の面積13.42㎢と本市の約10分の1ですが、人口は7月1日現在で48,557人と本市より約9,000人も多く、世帯人員は減少しておりますが、世帯数、総人口は年々増加しており、普通交付税不交付団体ということで、大変興味を引きました。やはり一番の興味は「寒川神社」でした。最近ではよくテレビにも出てくるとても有名な神社でもあり、今回参加させていただいた「浜降祭」も楽しみにしておりました。 以前は、寒川町については友好姉妹都市としての認識しか持っておらず、寒川町の成り立ちや主産業、寒川神社や浜降祭のこともあまり認識しておりませんでした。しかし、実際に訪れることとなると、しっかりと事前勉強することで、より寒川町のことを知ることができ、歴史・文化を体験してみたいと思うようになりました。特に、全国的に有名な「寒川神社」は、一度は訪れてみたいと思っていたところでもあり、今回浜降祭の時に公式参拝もできたことは大変記憶に残るものとなりました。また、お祭りの歴史も知った上で体験してみると、当たり前ではあるが地域のアイデンティティが発揮されており一体感のあるお祭りでした。 今回の寒川町訪問を終えて思ったことは、国内における本市の友好姉妹都市は寒川町しかありませんが、歴史上のつながりを考えると1000年以上の歴史があり、これからもしっかりと手を取り合って関係を続けていけることを祈っております。また、市民交流がもっと活発になると、より両市町が身近になると思いますので、今後は定期的な小中学生の交流も実現できれば、未来につながると思います。	